

# 3月 ひよこぐみだより



尚徳福祉会 とちょう保育園

ぽかぽか陽気の日が増えてきて、春がすぐそこまで来ていることが感じられます。早いもので4月の入園から1年が経とうとしています。ひよこ組の子どもたちは、歩けるようになったり、離乳食が完了したり、自分で手を洗おうとしたり……と、一人ひとりのペースで大きく成長した姿をみせてくれました。子どもたちの笑顔に私たち担任もたくさん元気をもらいました。そしてかわいい感動の瞬間に立ち会えたことを宝物のように思います。保護者の方には、一年間大変お世話になりました。長引くコロナ禍の中で、さまざまなご理解・ご協力をしていただき本当に感謝しております。残りあと僅かの日々を皆で大きくなった事を喜びあいながら、過ごして行けたらと思っています。



## 3月の保育目標

○友だちや保育士とのかかわりの中で簡単なやりとりや言葉、しぐさでの気持ちの表現を楽しむ。

～自分の遊びを十分に楽しみながら、友だちの遊びにも興味を持ち、簡単な言葉やしぐさで楽しいやりとりの経験を重ねていけるよう援助していきます。

○保育士に見守られながら、できるようになった事を自信をもって発揮する。

～食事、睡眠、遊びとそれぞれの場面で、気持ちを受け止めながら生活することで満足感を得られるようにします。



子どもたちの成長を保護者の皆さまと一緒に見守ることができてとても嬉しかったです。1年間、どうもありがとうございました！

ひよこ組担任一同

## こんなに大きくなりました！

☆言葉・・・「あーあー」「だーだー」とまだ言葉になる前のお話から始まり、「まんま」「ねんね」「ばいばい」「あっち」「ちょーだい」「おいしい」などの言葉が出てきて、生活の中や絵本の世界、毎日の言葉のふれあいの繰り返しからたくさんの言葉を吸収し、やりとりを楽しみました。

☆食事・・・ミルク、1回食から始まり、完了食、乳児食と段階を経て「あーん」と口を開けていた時期から、自分でスプーンをもって食べようとする姿が頼もしいです。苦手なものも出てきたけれど、お友だちの食べる姿に刺激を受けて、食べてみたら「おいしい！」なんて嬉しい場面もありました。

☆睡眠・・・抱っこで入眠した後、そお～っとそお～っとお布団へおろそうとしてみますが、背中がお布団に触れた瞬間、強力背中スイッチが作動し？“抱っこがいい！”と涙してた子が、自分からお布団にゴロンして眠る姿に、安心して過ごしてくれているのだなあとホッとします。お友だちが寝ている姿を見てトントンしてくれる可愛い姿も忘れられません。

☆遊び・・・まだ自分だけの世界で自分の遊びを楽しむことが中心ですが、少しずつお友だちと同じことをして嬉しい気持ちが出てきました。公園でシャボン玉を追いかけたり、10時の鐘にあわせて踊ったり、誰かがやることをみんなが真似して楽しむ姿が印象的でした。また、ひよこ組のお友達は「釣り」遊びが大好きで、なかでも「あこ（タコ）」がなぜか大人気。新聞紙を丸めて赤いテープを巻いて作ったタコはクラスのマスコットになりました（笑）楽しい思い出は尽きません。

